

がんばろう日本

～亀岡市は東日本の復興を支援します～

November.2014

広報No.619

キラリ 亀岡

■亀岡市の人口と世帯数

		平成26年 10月22日現在	平成25年 10月23日現在
人口		91,679人	92,199人
内訳	男	44,673人	44,987人
	女	47,006人	47,212人
世帯数		37,989世帯	37,734世帯

主な内容

- 1ページ 山を楽しみ山を守る 地域の力
- 2ページ 平成25年度 決算概要のおしらせ
- 3ページ サッカー大好き! もっと上手になれるかな
- 4ページ もみじ狩りにてかけよう!! 紅葉見どころマップ など

編集発行:亀岡市企画管理部秘書広報課 / 〒621-8501 亀岡市安町野々神8番地 / ☎0771-22-3131(代) ☎0771-24-5501
ホームページ: <http://www.city.kameoka.kyoto.jp> 携帯版ホームページ: <http://www.city.kameoka.kyoto.jp/m/> 電子メール: office@city.kameoka.kyoto.jp



市庁舎から長尾山方面を望む

山を楽しみ 山を守る 地域の力

亀岡の美しい山々は、地域住民を中心とした活動により守り育てられています。今回は、自然環境を守るための森林保全活動を支える「地域の力」を紹介します。



散策道の補修や倒木作業を行う地域のボランティアの皆さん

進められる 森林保全活動

亀岡市は、市域約225平方キロメートルのうち、約7割を占める山林が周辺を囲んでいます。山々の緑が広がる美しい風景が見られますが、一方で荒廃も進んでいるため、これらの山林では地域住民を中心とした森林保全活動が行われ、豊かな自然を守り育てる取り組みが進められています。山を守る森林利用保全活動には民間企業も参画し、東別院町、宮前町、旭町では地元自治会と民間企業、関係団体などが協働して取り組みのための協定を締結し、積極的に活動されています。また、篠町では、篠町つくり推進会長「尾山部会」が設立され、自治

会と連携協力しながら、長尾山を守る地域住民主体のさまざまな活動が行われています。

地域で守る 長尾山

長尾山部会では、ボランティアによる林道の整備や植



園外活動を行う篠村幼稚園の子どもたち

▽窯の遺跡から出土した「須恵器」



を、毎週木曜日、第2土曜日、第4日曜日など定期的に実施されています。作業日には幼稚園や保育所(園)の園外学習を行うなど、自然環境を生かした子どもたちの活動の場として活発に利用されています。また、長尾山区域内には、古代の容器である「須恵器」を焼いた窯跡が点在

「ぜひ一緒に森林保全のボランティアを!」

篠町「町つくり推進会」長尾山部会

副会長 軽野 保さん

長尾山部会は森林整備だけでなく、しいたけを育てて食べたり、子どもとふれあい元気をもらったりしながら、山が好きなが集まってわいわいと楽しく活動しています。山に詳しくなくても大丈夫、皆さんも

「身近な自然を次世代へ」

篠町「町つくり推進会」長尾山部会

会長 原田好夫さん

長尾山部会は平成19年に設立、現在36人で活動しています。そのうち8人は女性で、それぞれ体力、都合に応じた大人のまちづくりボランティアです。皆さんに親しまれる「市民の森 長尾山」を守るための活動を続けています。身近な自然を、楽しみ、愛し守り、そして次世代へと引き継いでいきたいと思います。



左から軽野さん、原田さん、牧野さん

「山を守る活動を通じたまちづくり」

篠町自治会

会長 牧野吉明さん

町つくり推進会は、自治会と連携して中長期的視点に立って篠町のまちづくりを進めていくために設立し、10周年を迎えました。人と人のふれあいでにぎわい

のある篠町をつくる計画、アクションプランを地域住民でつくり、長尾山部会の山を守る活動を通じてまちづくりを進めてもらっています。

秋の山を 楽しもう

京都縦貫道篠インターチェンジに近い長尾山をはじめ、市内の他の地域でも山林や里山

しており、史跡の保全活用も検討されています。こうした長尾山部会の取り組みは、地域力の向上に貢献したとして、本年6月、京都府地域力再生功労者表彰を受けられました。

を生かしたイベントが実施されています。地域の皆さんの活動により、森林環境が保全されている亀岡の山々に出かけて、皆さんも身近にある豊かな自然や景色、そして深まりゆく秋を満喫してみませんか。



展望台には地図やベンチを設置

長尾山部会の森林保全のボランティアにぜひ一緒に参加していただきたいと思っています。山の魅力を、まずは登ってみて感じてくださ